

議案番号	議案名	概要	反対議員
議案第37号	《反対討論 長谷川正議員》工事請負費や委託料全般について、余ってきたお金に対して指摘すると、入札差金という中身であるが、もっとしっかりと当初予算のときに知力を振り絞って予算編成をすれば、無駄のない予算ができるはずである。今後は無駄のない予算編成に努めてほしいと考えることから反対する。		
	《反対討論 日本共産党津市議団》この補正予算には、社会保障・税番号制度システム整備費補助金1,480万円が計上されている。これは国が進めているマイナンバー制度が背景になっている。個人情報や国が一手に握ること、国民を監視下に置く事への懸念がある。情報漏れに対しても対策が完全に取れる保証はない。成りすましを完全に防ぐのも不可能である。また、マイナンバー法の施行令では、破壊活動防止法第27条の「公安調査官による法の目的の範囲内での必要な調査」を理由に情報提供を認めている。破壊活動防止をめぐっては、公安調査庁が市民運動に対して、調査を名目に、違法な情報収集を行っており、これが拡大する危険性が大いにあることから反対する。		
議案第46号	平成26年度津市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第2号)	償還元金、貸付事業運営費の増等による1,353万2,000円の増額補正	中川民英、長谷川幸子 藤本智子、豊田光治
	《反対討論 日本共産党津市議団》この会計については、改善してきたとはいえ、まだ8億5,000万円もの未回収金がある。貸付時の問題等もあるが、貸付事業であるから、基本的には返却するのが当然である。滞納整理・実態把握の努力はしているが、より一層の回収努力を求めるとともに、適切な処置を講じるよう求める。		
議案第49号	平成27年度津市一般会計予算	産業・スポーツセンター、新最終処分場・リサイクルセンターの整備事業、名松線復旧・利活用事業、環境関係事業や生活基盤の整備事業関係経費、公共施設等の防災機能強化や消防関係事業、防災対策事業などの安全なまちづくりの推進経費、健康づくりや地域医療体制の充実のための経費、福祉関係経費、教育関係経費、生涯学習スポーツ・文化の振興に関する経費、農林水産業の振興事業や商工業および観光の振興事業、交流機能の向上に関する経費、市民活動の推進と市民との協働に関する経費等、 1,159億815万2,000円	中川民英、長谷川幸子 藤本智子、豊田光治 長谷川正
	《反対討論 長谷川正議員》歳入については、もっとしっかり吟味して整合精査したら、もう少し多く見積もれる所が何箇所かある。入ってくるお金は限られているのであるから、当初予算でしっかりと計上してほしい。歳出については、前年度実績や過去3年の実績を踏まえて計上していると言いながら、多めに計上したり、少なめに計上したり、各部署間で統一されていないことが顕著に表れている。私が平成25年度の決算認定に対し、昨年9月の決算特別委員会で所々指摘したため、少しは良くなった部分もあるが、まだまだ指摘をしなくてはならない予算編成の仕方が多く見受けられる。また、とことめの里一志全体の赤字額約2,270万円の大元となっている一志温泉の無料貸し出しタオルおよびバスタオルのクリーニング代など約1,700万円の予算が含まれていること、同温泉の年間パスポート代金が安すぎることを、津市民の血税で赤字運営をしているにもかかわらず、市内の利用者と市外の利用者の年間パスポート代金が同額である点は改善すべきと考えること、さらに、正副議長以外の議員1人当たりで年間904万2,000円もの高額な議員報酬等の予算が含まれていることから反対する。		
	《反対討論 日本共産党津市議団》消費税増税、アベノミクスによる格差社会の拡大、景気の悪化で市民の暮らしは、より一層厳しい状況に置かれている。正社員になれず、ちまたにはびこるブラック企業に苦しめられている実態もある。地方自治体には市民の暮らしに寄り添う温かく、優しい市政、また、国の悪政の防波堤になることが求められる。残念ながらこの予算にはそうした点が見受けられない。産業・スポーツ整備事業において当初より総額で約50億円も多い整備工事費が計上されていること、職員2,500人体制に伴う職員削減により、各部署で人員不足が続き、時間外労働が依然として減らず職員の疲弊が続いていること、福祉医療費の窓口無料化が実施されていないこと、自衛官募集広報業務委託料が計上されていること、最終処分場の建設事業について、供用開始を控えているこの時期に地元の美杉町下之川住民全ての人との合意が得られているとは思えないことなどから反対する。		
議案第50号	平成27年度津市モーターボート競走事業特別会計予算	勝舟投票券払戻金、船舶等振興機関等への交付金、選手賞金等の報償金、広報・宣伝経費、市債の元利償還金等、 403億299万8,000円	中川民英、長谷川幸子 藤本智子、豊田光治
	《反対討論 日本共産党津市議団》公営ギャンブルは反対という立場であり、さらには収益の一部が特定の一族に流れる仕組みになっていることから反対する。		
議案第51号	平成27年度津市国民健康保険事業特別会計予算	賦課徴収事務等の経費、保険給付費、後期高齢者支援金、介護保険納付金、保険財政安定化事業拠出金等、 307億6,937万5,000円 (事業勘定)、医療診療に係る経費等、 2,288万4,000円 (直営診療施設勘定)	中川民英、長谷川幸子 藤本智子、豊田光治
	《反対討論 日本共産党津市議団》高い保険料が被保険者に重くのしかかっている。支払い能力をはるかに上回る国民健康保険料に住民が悲鳴を上げている。高すぎる国保料を払えないために滞納する悪循環に陥っている。保険証の取り上げ、資格証の発行が行われている。もっと市民の暮らしに寄り添い、保険料を引き下げるべきである。国民健康保険制度は、憲法第25条に基づく社会保障制度であるという立場での運営を求め、反対する。		